

厚沢部町校務DX計画

1. 計画の背景と目的

厚沢部町では、令和10年度（～11年度）に町内の小中学校を統合し、義務教育学校を設立する予定です。これに伴い、教育の質の向上と教職員の業務効率化を図るため、校務のデジタル・トランスフォーメーション（DX）を推進します。

本計画は、文部科学省の「GIGAスクール構想」や「校務DX化チェックリスト」などの指針を参考にし、厚沢部町の教育環境に適したICT活用の方針を定めるものです。

2. 基本方針

- (1)校務と授業のICT環境を統合し、教職員が場所を問わず安全に業務を行える「ロケーションフリー」な環境を構築します。
- (2)生成AIやクラウドサービスを活用し、教職員の業務負担を軽減し、教育の質を向上させます。
- (3)教職員のICT活用能力を高め、日常的なICTの利活用を促進します。

3. 具体的な取組

- (1)校務・授業ネットワークの統合とゼロトラスト化
 - ア 校務系と学習系のネットワークを統合し、セキュリティを確保したゼロトラストモデルを導入します。
 - イ 教職員が一台の端末で校務と授業の両方を行える環境を整備します。
- (2)校務支援システムのクラウド化とC4thの活用
 - ア 校務支援システムをクラウド化し、C4thを活用して集金業務や成績処理を自動化します。
 - イ 保護者との連絡や文書配布もクラウドベースで行い、ペーパーレス化を推進します。
- (3)生成AIの導入による校務軽減
 - ア 生成AIを活用して、通知文書の作成や教材の提案など、教職員の業務を支援します。
 - イ AIの活用に関する研修を実施し、教職員のスキル向上を図ります。
- (4)チャットツールの導入によるコミュニケーションの効率化
 - ア 教職員間の連絡手段としてチャットツールを導入し、迅速な情報共有を可能にします。
 - イ 保護者との連絡にもチャットツールを活用し、双方向のコミュニケーションを促進します。
- (6)特別支援教育におけるサポートアプリの導入
 - ア 特別支援教育において、サポートアプリを導入し、個別の指導計画や支援計画をクラウドで管理します。

イ 保護者との情報共有を円滑に行い、支援の質を高めます。

(7)教育ダッシュボードの活用

ア 学習ログや児童生徒の心の状態を可視化する教育ダッシュボードを導入します。

イ データに基づいた指導や支援を行い、児童生徒一人ひとりに寄り添った教育を実現します。

4. 実施スケジュール

令和6年度 チャットツールの活用推進、教職員への ICT 研修開始、教職員向け生成AIの導入、特別支援教育におけるサポートアプリの導入

令和7年度 校務支援システムのクラウド化、児童生徒向け生成AIの試験導入、教育ダッシュボードの導入、特別支援教育におけるサポートアプリの本格活用

令和8年度 ICT管理者育成講習の実施

令和9年度 フルクラウド環境の本格運用開始予定

5. 参考資料

- ・文部科学省「GIGA スクール構想の下での校務の情報化の在り方に関する専門家会議提言」
- ・文部科学省「校務DX化チェックリスト」

本計画は、厚沢部町の教育環境をより良くするための一歩です。教職員の皆様と連携しながら、計画の実現に向けて取り組んでまいります。